

平成25年度立川市子ども委員会 「遊び場部会」活動報告

子ども委員会では、月に一回ほど集まって、話し合いなどのさまざまな活動をしてきました。



以下の理由により、今年度は公園のことについて考え、活動をしました。

- ・子どもばかりでなく、小さい子から大人の方までが集える場所
- ・顔見知りになることで、災害時の備えもできるし、日ごろから助け合える関係づくりを目指したい
- ・みんなにとって、憩いの場＝遊び場について考えたい
- ・ボールが使えるようになってほしい、マナーについても考えたい

夏休みに、身近な公園を調査しました。

そこでは、遊具はなにがあるか？ボール遊びはできるか？どんな人が利用しているか？など、いろいろなことを調べ、発表をし合いました。

3つの公園を選び、みんなで歩いて調査をしてきました。



一つ目は、やすらぎガーデンです。

きれいな公園でしたが、大きな道路に面していて、車通りも多く、遊ぶ時に危ないこともあるかもしれないと感じました。



二つ目は、青柳公園です。

団地の中にあり、ブランコ、すべり台のほかに広場もありました。ゴミがおちていたので、みんなでゴミ拾いをしました。



三つ目は、江の島南公園です。

ほかの公園に比べて広く、子ども会のみなさんが掃除をしてくれているおかげでゴミも無く、きれいでした。

しかし、近くに住んでいる人からの苦情があって、ボールなどで遊ぶことが禁止になってしまったそうです。



この日に調査をしながらみんなでひろったゴミです。

遊びによって、どう地域の場所を使い分けているか、ということについて調べ、話し合いました。

その結果、学校や児童館ではサッカーやバスケットボール、卓球やバドミントンなど、公園ではできないあそびができるということが分かりました。

それでも、やはり身近な公園でボールを使ってあそびたいというのが希望です。

それにはやはり、地域の方の力を借りないとできないことだと思います。

1つの計画として、一週間のうちに何度か、公園を見守っていただくボランティアの方を配置していただくことはできないか、ということを考えてみました。

今年 1 年で、公園のことについてたくさんの方のことを調査し、赤ちゃんからお年寄りの方まで、いろいろな人が利用するんだということが分かりました。

みんなが楽しく公園を利用するための子どもルール

- 1、やわらかいボールをつかう
- 2、ゴミは必ず自分たちで持ち帰る
- 3、火あそびなど、近所迷惑になるようなことをしない
- 4、他の利用者の迷惑にならないように心配りをしてあそぶ
- 5、遊具はきれいに使う

公園が、赤ちゃんからお年寄りまで、地域みんなが一緒に利用できる、楽しく交流できる場所になってほしいと思いました。